

編 集 後 記

本号は6本の論文と1本の研究ノートが寄稿されています。数多くの寄稿があり、編集担当委員としてはうれしい限りです。よく言われることですが、大学の置かれている環境は、年々、厳しくなるばかりです。社会全体の変化、学生の気質の変化、大学はさまざまな変化に対応していくのに懸命です。本学も例外ではありません。ますます、教育へのコミットメントを求められています。しかし、その一方、研究の成果も求められています。研究なしには将来の大学像を描くことは無理です。個々の教員が研究をバックボーンとすることなしに、将来の大学の進むべき道を考えることは無理です。同僚の教員から多くの研究の成果が報告されることを、頼もしく思っています。 (2015年1月 H.I.)